



学校名 熊谷市立三尻中学校

校長名 新井 千尋

一 本校の沿革

昭和二十二年五月二日、埼玉県大里郡三尻村立三尻中学校として三尻小学校に併置された。開校当時は学級数5、生徒数二百二十七名。翌年の三月に四十九名の初めての卒業生を送り出した。昭和二十七年に現在の場所に校舎を起工。昭和二十九年十一月に町村合併に伴い、現在の熊谷市立三尻中学校に改名。昭和四十年に校旗を制定。昭和四十一年に体育館を竣工し、昭和四十六年に4階建ての校舎を竣工、昭和四十七年にプールが設置された。昭和五十五年に校庭が拡張され、翌年に3階建ての校舎が竣工された。平成元年に現在の重層式体育館が竣工され、平成六年に特別棟が竣工となり、現在の校舎等の配置となった。

部活動においては、卓球で県大会優勝、体操で関東大会出場、陸上で全国大会出場などの成績を残している。

多くの研究委嘱に取り組み、近年では、令和五年度に、文部科学省の指定を受け「授業時数の弾力化に関するモデル校事業」の研究を発表した。

二 校章・校歌制定に係るエピソード

1 校章

① 制定年 昭和二十二年

② デザインの意味

ペンは学舎を意味し、1つは協力和楽、1つは真摯努力、1つは美しく輝かしい学校を想念したものである。3つ輪は、三尻中の頭文字三をとったものである。

2 校歌

① 制定年 昭和三十九年十二月十一日

② 特徴

「一天瑠璃」、「日輪煌」、「風吹かば風」、「雪降らば雪」、「ゆるがじ信と和」など、心に残る言葉がたくさん使用されている。

校 歌

田島一宿 作詞
木村公一 作曲

Moderato 元気よく

1. いあしよ つかか てぎけ んのん るえぎ りまん にいの みきあ したお りにあ のみら やてし
 2. ちさつ りまの んのは ここな ううち ときる きそゆ ぼびう のには せによ いのう かうど
 3. ちがれ べげき いふし ひかは ろばか やがお かせる みゆす どきす りふき らのの なばほ がゆむ すきら
 ひゆめ がうる りあが のいじ ふうし るでん さくと とむは わみは がしえ ののる めげこ ぐんう みじき
 おおお おおお みみみ ししし りりり ちちち ううう ががが つつつ こうこう おおお
 おおお わわわ れれれ ららら ががが ぼぼぼ こここ ううう まはう なげつ べめせ おきこ こたう
 なえふ えよう くくく ままま ががが ややや ののの わわわ かかか にくく さささ ぞぞぞ

三

二

一

移せおお風 大熊谷の若草ぞ
 仲史がはじと信和中羊校
 松間山の花散る雄飛の郷土
 少間の青嵐の燐むら
 はげおおめ鍛えよ大熊谷の若草ぞ
 友愛腕くわ三尻が母校
 風吹かば風そい北に見て雪う
 赤城の豪まい北に担て
 浅間の豪そい北に担て
 半おお行え われら大熊谷の若草ぞ
 光おおるさ大熊谷の若草ぞ
 地おおるさ大熊谷の若草ぞ
 日平ひるさ大熊谷の若草ぞ
 天輪と瑠璃の聖野火や
 一平と瑠璃の聖野火や

校 歌

作詞 田島一宿
作曲 木村公一